

【発掘調査等を中心とするもの】

| 用語 | 解説 |
|--------------------|---|
| 「石臼」 (いしうす) | ものを砕いたり、磨りつぶすのに使った石製の臼。 |
| 「板碑」 (いたび) | 石でつくられた塔婆 (とうば) |
| 「五輪塔」 (ごりんとう) | 主に整形した石を積み重ねてつくった供養塔。 |
| 「焼土」 (しょうど) | 火の影響を受けて赤くなった土。 |
| 「地下式坑」 (ちかしきこう) | 穴を掘ってつくられた地下室の様な遺構。貯蔵や埋葬に使われたと考えられています。 |
| 「鉄滓」 (てっさい) | 金属を精錬する際にでるカス。 |
| 「カワラケ」 | 素焼きの土器で、小型の皿。宴席等の儀礼の場や灯明皿として利用されることが多い。 |
| 「染付」 (そめつけ) | 白地に青色の文様を表した磁気。 |
| 「ほうろく」 | 煮炊用の素焼きの土器で、縁に耳を有するものが多い。 |
| 「天目茶碗」 (てんもくちawan) | お茶を飲むための容器でも、独特の色合いや器型のもの。 |
| 「普請」 (ふしん) | 石垣や土塁など、城を築くための土木工事のこと。 |